

本誌では、普天間飛行場跡地利用に係る最新情報をお伝えします 普天間飛行場跡地利用ニュース 18号

平成 24 年 4 月 宜野湾市基地政策部基地跡地対策課発行

「ねたてのまちベースミーティング」の活動報告

平成 23 年度の「ねたてのまちベースミーティング（以下 NB ミーティング）」では、毎月の定例活動をはじめ、ゲストスピーカーを招いての勉強会や「普天間飛行場跡地利用を考える若手の会（以下若手の会）」との意見交換会・合同勉強会、さらには琉球大学との連携による取り組みなど、幅広い活動を行ってきました。今号では、今年度 1 年間の活動内容と活動成果についてご紹介します。

平成 23 年度「NB ミーティング」活動内容

●活動方針（プログラムの作成）、関連調査の概要把握（平成 23 年 4、5、7、8 月）

- ・活動方針の検討（プログラムの作成）
- ・跡地利用取り組み状況について
- ・関連調査の取り組み状況について



●ゲストスピーカーを招いての勉強会（平成 23 年 6、9 月）

- ・議論の基礎知識を得るためにゲストスピーカーを招いた勉強会を実施。
- ・第 1 回：今後のまちづくりと公共交通の役割（講師：森本章倫氏）
- ・第 2 回：普天間飛行場返還地の活用について（講師：鈴木俊治氏）



●琉球大学との連携（平成 23 年 10、11、12 月、平成 24 年 1 月）

- ・琉球大学と連携し、講義の中で学生が普天間飛行場跡地利用を検討。
- ・「公園」と「環境共生住宅」をテーマにグループ検討。
- ・「若手の会との意見交換会（1/17）」で学生が検討結果を発表。



●「市民懇談会」における活動紹介（平成 24 年 2 月）

- ・「市民懇談会」において活動内容を紹介。
- ・琉球大学学生が市民に対して、跡地利用検討成果を発表。



●「若手の会との合同勉強会」の開催、次年度の活動内容の検討（平成 24 年 3 月）

- ・「駐留軍用地跡地利用計画と実現への取り組み」をテーマに高嶺晃氏（北中城村軍用地跡地利用プロジェクト・マネージャー）を講師に招き、「若手の会との合同勉強会（3/15）」を開催。
- ・次年度の活動内容、進め方について検討。

平成 23 年度「NB ミーティング」活動成果

●琉球大学学生との連携により、係わる世代の視野が広がった

- NB ミーティングの新たな試みとして、琉球大学環境建設工学科と連携し、跡地のまちづくりにおける「公園」、「環境共生住宅」のあり方を検討した。これまでNB ミーティングとして「跡地のまちづくりについての考え」をとりまとめる中では、若い世代の意見が反映されてこなかったが、学生との連携により、新しい視点を加えることができた。
- また、市民目線でのまちづくりの検討に係わる世代の視野が広がり、NB ミーティングの活動の幅も広げることができた。

●勉強会実施や情報発信が積極的に行われた

- NB ミーティングメンバーの発意によるゲストスピーカーを招いた勉強会が実施され、これまで以上の知識の蓄積が図られた。
- また、多くの市民に参加を呼び掛けるために、宜野湾市役所ロビーでのパネル展示、市民懇談会での活動発表等の情報発信が積極的に行われた。



「若手の会と NB ミーティングの合同勉強会」を開催



平成 24 年 3 月 15 日（木）に「若手の会とNB ミーティングの合同勉強会」を開催しました。勉強会では、高嶺 晃氏（北中城村軍用地跡地利用プロジェクト・マネージャー）を講師に迎え、普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けて、「駐留軍跡地利用計画と実現への取り組み」をテーマにした講演して頂きました。

講演では、新都心等を事例に基地返還と地権者との合意形成をわかりやすく解説を行ってまい、今後跡地利用の議論をする上で理解しておかなければならない内容について再確認することができました。

（左写真：若手の会との合同勉強会のようす）

普天間飛行場跡地利用に関わる情報は、ホームページや情報提供窓口でも提供しています。情報収集や跡地利用に関わる要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用下さい。

≪ホームページ≫ <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/>
 ≪情報提供窓口≫ 宜野湾市役所 基地政策部 基地跡地対策課
 電話 098-893-4401（直通） FAX 098-892-7022
 Eメール kichi01@city.ginowan.okinawa.jp

